

一般質問通告書（令和3年9月定例会市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
1	広田 精治	1. 臼杵市奨学資金について	(1) 本制度の目的について伺う。 (2) 条例第3条(3)、「学業優秀」と認められる者とは何を基準に、どのように判断するのか。 (3) また同3条(4)、「経済的理由により学資の支弁が困難な者」の判断基準、保護者の所得基準は条例(規則)には定めはない。要件を満たすかどうかの判断はどのようにするのか伺う。 (4) 過去5年間、平成29年から令和3年度の奨学金贈与者の新規認定者は20名、11名、16名、8名、5名と減少傾向にある。以下伺う。 ① 各年度の高校進学生徒数に占める新規認定者の割合。 ② 新規認定数に予算上の「枠」があるか。ある場合はその理由。 ③ ここ数年の大幅減少の原因と、保護者への制度案内など周知徹底について。		
		2. 熱海市における盛り土にかかわる土石流災害に関連して	(1) 7月3日発生した熱海市の土石流の発生を受けて、県が調査した結果、臼杵市内で土砂災害警戒区域などの上部に位置する盛土地形(高さ5m以上)が22カ所あったとのことである。県は8月末終了を目指し、これらの地形が土砂崩れにつながる危険性がないか現地調査を進めてきた。本市はどのように把握し、どのように対応しているか、伺う。 (2) (1)の「22カ所」には、盛り土の中に不法投棄を含め産業廃棄物が混入していたかどうか、伺う。 (3) 危険盛り土、産廃等の不法投棄のパトロール、苦情受付の担当課はどこか、過去処分した案件はあるか伺う。 (4) 大分県土砂等のたい積行為の規制に関する条例で規制対象とされ、知事の許可を要する「土砂等のたい積行為」が臼杵地域、野津地域それぞれ何カ所存在するか伺う。		
		3. (仮称)大分野津太陽光発電事業に関わる林地開発許可申請への意見書について	(1) 意見書は、本市が開発申請者との間に交わす協定書の遵守を林地開発許可条件とすることを求め、協定書に違反した場合、開発許可を取り消す措置を求めているが、大分県がそのような対応をとった具体例があるか、伺う。 (2) 意見書は、開発申請者が事業を実施できるのか提出資料からは確認できない。開発申請者が事業を完遂する能力を有しているか否かの観点、審査の上で必要不可欠としているが、それは「事業完遂能力」の見極めが開発許可の前提になるとの意見だと受止めてよいか。 (3) 面積55ha、盛り土377万m ³ 、法面最大高さ43mの造成地となる本計画が県内最大級の山林開発規模であり、土砂災害の危険性は極めて高い。意見書は、事業計画について慎重な審査を求めているが、計画の大幅縮小を求めることこそ必要だと考えるが、どうか。		

一般質問通告書（令和3年9月定例会市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
2	伊藤 淳	1. 認知症の人を地域で見守っているケースへの支援について	<p>(1) 家族による介護が期待できない独居の認知症の人を、地域住民が、見守りなどの支援を行っているケースについて、令和3年3月定例会において「認知症の方を地域で見守るケースについても、関係機関の連携支援や支援体制の構築などに努めているところです。」との答弁を頂きました。そこで、その後の進捗状況など、お尋ねします。</p> <p>① 認知症の独居の高齢者を、地域の方々が見守っているケースへ、継続的な支援が行われている件数について、令和2年度の件数を教えて下さい。</p> <p>② すでに認知症サポーターとして活動されている方々のスキルアップはどのように行われているかを教えて下さい。</p> <p>③ 課題と今後の取組みについて教えて下さい。</p>		
		2. 高齢者施策について	<p>(1) 令和2年3月定例会においてお尋ねした、医療介護連携事業で作成された「口腔ケア」「低栄養」「薬の管理」をテーマとした冊子についての活用状況などの評価の結果と、その際の答弁の中にあつた「医療、介護、福祉事業所との新たな体制づくり」等についてお尋ねします。</p> <p>① 「口腔ケア」「低栄養」「薬の管理」をテーマとした冊子について、評価分析の結果と今後の取り組み方に活かした改善点を教えて下さい。</p> <p>② 臼杵市Z会議において整理された課題と方策の具体化の現状について教えて下さい。</p> <p>③ 「医療、介護、福祉事業所との新たな体制づくり」の取り組みの現状について教えて下さい。</p>		
		3. 学校運営協議会について	<p>(1) 学校運営協議会（コミュニティスクール）は、教育委員会が学校や地域の実情に応じて設置すると「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5）の中で示されています。また、臼杵市においても、平成25年9月定例会で「本市でも指定校を増やすときは、地域や学校の特徴を考慮して検討しなければならない」、令和2年3月定例会でも「地域社会の代表者の選出に地域振興協議会や各地区の区長会と連携することで地域社会の考えや思いも学校運営に反映することができると考えている。」と答弁されました。そこでお尋ねします。臼杵市において学校運営協議会を設置する際に基準となる「臼杵市立学校における学校運営協議会設置規則」は、平成22年に作られたもので、3回の改正が行われていますが、今後も地域の実情に応じた見直しを行われるかどうか、その必要性についてお考えを教えて下さい。</p>		
3	奥田 富美子	1. 臼杵市学校給食調理部門民間委託から1年経過後の現状について	<p>(1) 調理部門を民間委託することで人員確保の安定が図られるという事でしたが、雇用状況について改善されましたか。</p> <p>(2) アレルギー対応についても変わらず実施されるようになっていました。アレルギー対応の現状はどうなっていますか。</p> <p>(3) 学校給食に使用されるほんまもん野菜の利用を促進するために予算化しましたが、どの程度利用出来ていますか。</p> <p>(4) 調理部門を民間委託した成果と課題について、どのようにお考えですか。</p>		
		2. 熱海伊豆山土石流災害を受けて実施された大分県の調査について	<p>臼杵市に、熱海伊豆山のような盛土などの危険箇所はないのか気になるところです。</p> <p>(1) 今回、臼杵市で行われた調査について調査場所や方法、結果と対応についてお知らせください。</p> <p>(2) 調査対象にならなかった場所でも臼杵市として再調査や点検など実施されましたか。未実施の場合、調査の予定はありますか。</p>		

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
4	河野 巧	1. 持続可能な市役所づくりの実現をめざす取り組みについて 2. パークゴルフ場計画について 3. 成人式について	<p>新型コロナウイルス感染症のまん延により、仕事の在り方や新しい生活様式の導入の見直しが必要となり、第2次行財政活性化大綱の改定が進められている。</p> <p>(1) 100年市役所検討委員会について</p> <p>(2) デジタル化について</p> <p>① 医療のデジタル化について</p> <p>② 教育のデジタル化について</p> <p>(3) 持続可能な市役所経営について</p> <p>① 経営意識について</p> <p>市内中白杵地区にある旧不燃物最終処分場跡地でのパークゴルフ場計画について、地域住民は元より、市民に対する情報が不足していると考えます。</p> <p>(1) パークゴルフ場の計画についての進捗状況</p> <p>① 計画の内容について</p> <p>② 地域への説明について</p> <p>③ 今後のスケジュール</p> <p>(2) パークゴルフ場の運営についての検討</p> <p>① 収支の改善について</p> <p>② 赤字の補填の仕方について</p> <p>③ 運営についての責任の所在について</p> <p>白杵市で行われる成人式は、新成人を市民あげてお祝いする会であり、最近では、新成人の方々に成人式をプロデュースするための実行委員会を組織し、白杵の将来を担う人材を育成する機会ともなっていると認識している。</p> <p>(1) 令和2年度成人式の結果と令和3年度開催について</p> <p>(2) 実行委員会の役割と委員に期待すること</p> <p>(3) 成年年齢の引き下げに伴う白杵市の対応</p>		
5	若林 純一	1. ワクチン接種について	<p>今回のワクチンは人類に初めて実用化接種されるmRNA技術を利用したもので、不明な点が多い。各自の年齢や健康状態によるリスクとベネフィットを考慮の上、自己責任で接種するか否かを決める必要がある。</p> <p>20歳未満については、コロナによる死亡者は一人も出ておらず、重傷に至ることも稀であり、20歳未満の接種は特に慎重であるべきと考える。</p> <p>以下の点についてどのようにお考えでしょうか。</p> <p>(1) 市のHP「市長メッセージ（令和3年5月19日）」について</p> <p>① 「ワクチンの発症予防効果は95%以上とされており、心配されるイギリス型やインド型などの変異株に対しても、十分な効果が期待できると大学研究チームが発表しています。」とされていますが、変異株に対するワクチンの有効率が下がってきており3回目の接種を行う国もあります。日本でも3回目の接種が検討されています。このようなことを踏まえた正確なメッセージとすべきだと思います。</p> <p>② 「ワクチン接種人口が7割を超えると「集団免疫」に近づくとされています。我が国の集団免疫獲得にはもう少し時間がかかりませんが、一日も早い実現に向け努力しなければなりません。」とされていますが、変異を繰り返す風邪の一種であるコロナウイルスに対して「集団免疫」が獲得できると考える根拠をお聞かせください。また、ワクチン接種が進んでいる国において集団免疫を獲得できた例があれば教えてください。</p> <p>(2) 市のHP「新型コロナウイルス感染症に関する今後の対応について（8月17日公開）」では「ワクチン接種については不安や疑問を持っている方も多く、特に若い世代が接種に慎重になる傾向があるようですが、ワクチン接種の効果は副反応のリスクを上回るというのが関係者の共通認識です。県民の皆様には、ワクチンに対する正しい理解の下、積極的な接種をお願いします。」とされています。</p> <p>① 若い世代へのワクチン接種を奨励するという、大変重要なメッセージとなっています。「関係者」とは誰でしょうか。白杵市も関係者なのではないでしょうか。</p> <p>② 市長も、若い世代へのワクチン接種の効果は副反応のリスクを上回るとお考えでしょうか。</p>		

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
5	若林 純一	1. ワクチン接種について	<p>(3) 8月25日に発表された厚生労働省のワクチンの副反応疑い報告によれば、ワクチン接種後に死亡した人が1,093人、副反応報告が22,056人でその内3,867人が重篤者とされています。 インフルエンザワクチンが、令和元年シーズンに約5千6百万回接種され、副反応疑い報告で死亡者が6人、重篤者が148人であったことと比較して格段に死亡者と重篤者数が多く報告されていることについてどのようにお考えでしょうか。</p> <p>(4) ワクチン接種の始まった2021年2月17日以降、超過死亡数が急増しています。「超過死亡」は過去のデータから統計学的に推計される死亡者数を実際の死亡者数がどれだけ上回ったかを調べるものです。特に5月は昨年5月と比較して全国で1万人以上死者数が多くなっています。また、ワクチン接種数と超過死亡者数に強い相関がみられます。この点についてどのようにお考えでしょうか。</p> <p>(5) 「ADE（抗体依存性感染増強）」とは、ウイルスなどから体を守るはずの抗体が、免疫細胞などへのウイルスの感染を促進。その後、ウイルスに感染した免疫細胞が暴走し、あろうことか症状を悪化させてしまうという現象ですが、ワクチン接種による「ADE」の発生が懸念されていることについてどのようにお考えでしょうか。</p> <p>厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策分科会資料（令和2年8月21日） 「ワクチンの接種を行うにあたっては、リスクとベネフィットの双方を考慮する必要がある。現在のところ、開発されるワクチンの安全性及び有効性については不明な点が多いが、継続的な情報収集を進める必要がある。特に留意すべきリスクは、現在開発が進められているワクチンでは、核酸やウイルスベクター等の極めて新規性の高い技術が用いられていることである。また、ワクチンによっては、抗体依存性増強（ADE）など重篤な副反応が発生することもありうる。ワクチンの接種にあたっては、特に安全性の監視を強化して接種を進める必要がある。」</p> <p>ファイザー社の作成した「コナチ筋注に係る医薬品リスク管理計画書（令和3年8月）」 「重要な潜在的リスク」として「ワクチン接種に伴う疾患増強（Vaccine-associated enhanced disease (VAED)）およびワクチン関連の呼吸器疾患増強（Vaccine-associated enhanced respiratory disease (VAERD)）」が挙げられています。</p> <p>「本剤の臨床試験において報告されていないものの、以下の報告を踏まえ、本剤の接種を受けた者がSARS-CoV-2感染症に罹患した場合、VAED/VAERDにより重症化する可能性があると考えられることから重要な潜在的リスクとした。 SARS-CoV-1ワクチン候補を評価するために開発された動物モデル（マウス、フェレットおよび非ヒト霊長類）では、一部の研究で生ワクチン接種後のウイルス曝露時に疾患増強が認められた。また一部のMARSワクチン候補において、マウスモデルで疾患増強が認められた。」</p> <p>(6) ファイザーの「薬物動態試験の概要」 SARS-CoV-2 mRNA Vaccine (BNT162, PF-07302048) 2.6.4 ワクチンに含まれるmRNAを包んでいる脂質ナノ粒子が、注射筋肉部分にとどまらず、それ以外の部分で検出されたとされています。 接種後4時間以内に全身を循環する全血中に検出され、48時間後には、肝臓、脾臓、卵巣、骨髄、リンパ節に高濃度で定着したとされています。この点についてどのようにお考えでしょうか。</p>		
		2. 大分野津太陽光発電事業について	<p>先ごろ「大分野津太陽光発電事業の林地開発許可に係る意見書」が臼杵市長から大分県知事に提出されました。次の点についてはどのようにお考えでしょうか。</p> <p>(1) 施設の維持管理が長期的に、事業完了後においても適正に行われることが担保されるのでしょうか。</p> <p>(2) 固定価格買取制度は事業開始後20年で終了します。その後不要となった太陽光パネルの撤去が確実に行われるよう担保されるのでしょうか。</p>		

一般質問通告書（令和3年9月定例会市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
6	戸 匹 映二	1. 災害時の避難体制について	(1) 福祉避難所への直接避難について ① 内閣府は今年5月に「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」を改訂し、指定福祉避難所への直接避難を促進しているが、臼杵市の対応を伺う。 (2) 福祉避難所へ避難時のヘルプカードの活用について ① 福祉避難所への避難を要する方へ、障がいの内容等を記載したヘルプカードの携帯を推進して頂きたいが如何か。 (3) 災害時のペットの同行避難について ① 環境省の「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」では、「飼い主はペットと同行避難することが基本」とされているが、臼杵市の認識を伺う。 ② 災害時に備えた適切な飼育への指導・普及啓発を推進するとともに、市内にペットが避難できる避難場所の設置も必要と考えるが如何か。		
		2. ヤングケアラーへの支援について	(1) 市内のヤングケアラーの実態について ① ヤングケアラーの実態把握の状況と臼杵市の課題認識を伺う。 (2) ヤングケアラーへの支援策について ① 現状の支援策を伺う。 ② 小中学校での支援策を伺う。		
7	匹 田 久美子	1. 水産業の資源回復や漁業の安定について	(1) 近年の漁獲量の変化と現状分析 (2) 第二次臼杵市総合計画に書かれている「安定的な水産業経営」をどう実現していくのか。 ① 漁業者になる場合の支援 ② コロナ禍で苦しい漁業者への支援 ③ 水産物の付加価値を上げていくための工夫や飲食店への支援 (3) 海の資源管理や海洋環境の回復のために市として取り組んでいることはあるか。		
		2. 成年後見制度の啓発と利用促進について	(1) 臼杵市の認知症高齢者数と、成年後見制度の利用者数ほどのくらいか。 (2) 本市が現在取り組んでいる成年後見制度の利用支援はどのようなものがあるか。 (3) 令和元年に定めた「臼杵市成年後見制度利用促進基本計画」が今年度末で見直しの時期となる。これまでの取り組みや現状を踏まえて計画策定の準備はどのように進めるのか。		
		3. 学校教育の充実と今後の取り組みについて	(1) 万が一の感染拡大などを想定したオンライン授業の可能性はあるか。 (2) 小学校での教科担任制をどう進めるか。 ① 現状の取り組みと、メリットとデメリットをどう分析しているか。 ② 市として考える導入の道筋はどのようなものか。		

一般質問通告書（令和3年9月定例会市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
8	内藤 康弘	1. コロナワクチンの接種状況について	<p>(1) ワクチン接種が全国的に進んでいます。白杵市においても、感染拡大を防止し、市民の生命及び健康を守るため、希望する方へのワクチン接種を行っています。現在の接種状況について伺います。</p> <p>① 年齢層別の接種率はどれくらいか。</p> <p>② 妊婦の接種は、どのような対応をしているか。</p> <p>③ 学校現場における教職員の接種は、どのようになっているか。</p> <p>④ 白杵市全体の接種率が7割以上を超えることが望ましいと思うが、可能か。</p>		
		2. 白杵市農業の現況について	<p>(1) 平成23年に策定された農業基本計画が、本年度見直しされる予定です。白杵市の農業、農村の振興のための施策を総合的に推進するため、「安全安心な食糧の供給」、「持続可能な農業振興」、「活力ある農業振興」、「環境に配慮した農業振興」の4つを基本目標に設定しています。平成28年に5年に一度の見直しを行っていますが、その後の成果と今後の課題について伺います。</p>		
9	川辺 隆	1. 「ユネスコ食文化創造都市認定」について	<p>(1) 令和3年6月定例会後の進捗状況についてお伺いします。</p> <p>(2) 認定を受けるための市の取り組みについてお尋ねします。</p>		
		2. 小・中学校での生理用品の無償配布について	<p>(1) 令和3年6月定例会後の取り組みについてお伺いします。</p>		
		3. 災害時の避難体制について	<p>(1) 現在、白杵市が指定している避難所と、配置される市職員の人数には限度があり、地域の協力が必要であると考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>(2) コロナ禍において、避難所に多くの人が集まることで、感染者が増える可能性があります。その対策案（分散避難）等がありますか。</p> <p>(3) 避難者の避難準備品について、現況をお伺いします。</p>		
		4. 新型コロナウイルス感染症に関わる対策について	<p>(1) これまでにおこなった地域消費喚起プレミアム商品券などの経済対策の実施実績と実施予定をお伺いします。</p> <p>(2) 抗原検査、陽性反応後の取り扱いについて、お尋ねします。</p>		
		5. 新型コロナウイルス感染症のワクチン効果の検証について	<p>(1) 二十歳未満は、死亡者、重症者が0人というのは本当ですか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症は、「風邪の一種で死に至る病気ではありません」というのは本当ですか。</p> <p>(3) ワクチン接種で、感染予防効果は無いのですか。</p> <p>(4) 若年層のワクチン接種のメリット・デメリットについてお伺いします。</p>		